

質問および回答一覧（富山市スマートシティ推進ビジョン策定支援業務委託）

No.	質問内容	回答
1	提出書類の様式7(実施内容)について、ページ枚数に上限はありますか？	上限はありません。
2	提出書類の様式7(実施内容)について、資料をパワーポイントのA4横スライドで作成し、提案書としてはスライドを2upで印刷することによりA4縦の体裁にしようと考えていますが問題ないでしょうか？	問題ありません。
3	募集手続き：(7)選考委員会によるヒアリングについて、プレゼンテーションは、指定場所に赴かないでオンラインで実施することは可能でしょうか？(可能な場合、現地出席者とオンライン出席者の混在は可能でしょうか？)	プレゼンテーションについては、当初、現地（対面）での実施を想定しておりましたが、現在の感染症の拡大状況を踏まえ、完全にオンラインで実施することも想定しています。現地（対面）での実施の場合はオンライン出席者との混在は可能ですが、完全にオンラインとなった場合は（富山在住者も含め）現地の出席はできません。 本件については、提案書の受理後(8/18以降)に正式にご案内します。
4	募集手続き：(7)選考委員会によるヒアリングについて、プレゼン時の説明資料は提案書(A4縦で印刷したもの)そのものでなく、パワーポイントのスライドでも構いませんか？（ただし、プレゼンの内容は提案書の内容のみに限定）	プレゼン時の資料は、提案書以外の任意の様式で構いませんが、提案書の内容に沿ったものをお願いします。
5	仕様書：(2)ビジョン策定支援業務-(イ)各ステークホルダーの意見収集・集約について、候補となる各ステークホルダー(団体、市民)の連絡先情報に関し、富山市様が保有している情報(名前、emailアドレス等)を提供していただくことは可能ですか？	本件については、どのようなステークホルダーへの程度コンタクトをするのかという点によって内容は異なりますが、当該ステークホルダーへの協力を市から依頼し、先方の同意をとったうえで情報提供することについてはある程度提供することは可能です。
6	仕様書：(2)ビジョン策定支援業務-(イ)各ステークホルダーの意見収集・集約について、意見を聞くステークホルダーの数的規模はどれくらいを想定されていますか？	本件については、どのようなステークホルダーにどのように意見収集することが現実的かつ効果的であるかという点も含めてご提案をいただきたいと考えておりますので回答は致しかねます。

7	<p>富山市様はこれまでコンパクトシティやスマートシティに関わる様々な先進的取り組みを実施していますが、これらの取り組みと今回策定する新しい「スマートシティ推進ビジョン」との関係性をどのように考えればよいでしょうか？ これまでの取り組みを全て包含したうえで、目玉になるような(他の都市と差別化できるような)新しいエッセンスを追加することを期待されていますか？</p>	<p>「コンパクトなまちづくり」は本市のまちづくりにおける基本コンセプトであり、この方向性は今後も継続していくこととしております。本業務では、本市がスマートシティを推進するにあたり、基本コンセプトである「コンパクトなまちづくり」を深化させるためのビジョンの策定を想定しております。また、市民（利用者）中心主義、ビジョン・課題フォーカスといった「スマートシティ・ガイドブック」の基本理念や基本原則を踏まえた提案を期待しているところであり、「差別化」という視点ではなく、本市の地域特性や課題を踏まえた上で、それらの課題を解決し市民のQOL向上につながるスマートシティのあり方が提案されることを期待しております。</p>
8	<p>仕様書：(2)ビジョン策定支援業務の実施環境について、ビジョン策定支援のための各種業務を行うにあたり、各種会議への参加は現地(富山市)訪問が必須でしょうか？ オンラインで実施することも可能でしょうか？ 特に、以下の業務を想定しています。  (ア)-(b)庁内ワーキンググループ会議(月1回程度)  (ア)-(c)有識者会議(年度内に2回開催予定)  (ア)-(d)事務局業務  (エ)プロジェクト管理：事務局への定例報告(隔週以上の頻度)</p>	<p>原則として、  ア(a)富山市スマートシティ推進本部会議および(c)有識者会議については必ず現地で出席していただくことを想定しております。その他の業務については、内容や状況によってオンラインでの参加も想定しております。</p>
9	<p>仕様書：(1)基礎調査業務-(イ)本市の現状と課題の整理・検討に関し、富山市のHPで公開している5つの「富山市スマートシティ事業」について、各事業の進捗状況、効果、課題などがわかる資料等を公開いただくことは可能でしょうか？</p>	<p>富山市ホームページのほか各種メディア等を含め、現在の公開情報の範囲内でご検討いただくようお願いいたします。なお、事業者特定後には必要に応じて資料提供させていただきます。</p>
10	<p>事業者が提案時に提示した作業スコープ(範囲・内容)と契約時の富山市の希望するスコープとの差異が生じた場合の協議方法や、費用扱いについて現時点でどのように想定しておられるか教えてください。</p>	<p>提案時の作業スコープは提出書類中の「見積書」に記載されることを見込んでおり、事業者特定後に改めてその内容について双方で協議のうえ詳細を確認し、両者の合意に基づいて仕様書もしくは契約書に記載したうえで契約することを想定しております。</p>
11	<p>「ビジョンの射程は現時点では概ね10年を想定する」と記載されているが、ロードマップはどの程度の年数を検討するのか教えてください。</p>	<p>ロードマップもビジョンの射程と同様に、概ね10年を想定しております。</p>

12	<p>「当市におけるビジョン策定に向け、庁内検討プロセスにおける各会議間の調整を含めた全体のプロジェクト管理を行うこと。」とあるが、庁内検討プロセスにおける各会議間の調整とは具体的にどのようなことをするのか教えてください。</p>	<p>各会議で発せられた意見・コメント・提案等について、必要に応じて取捨選択を行いつつ、全体的な方向付けを行うことを意味しております。</p>
13	<p>来年度4-9月も含めて提示となっていますが、その前提として来年度の契約の受託事業者選定方法とスケジュールを教えてください。</p>	<p>本業務については、同一の事業者が継続的に携わることで業務効果が高まると考えられることから、本業務の特定事業者へ特命随意契約を行うことを想定しております。ただし、今年度の業務実施成果によっては必ずしも継続としない可能性もあります。また、来年度の予算については現時点で保証されるものではありません。</p>
14	<p>9/1までの4回でありたい姿や課題を検討とありますが、その内容を可能な範囲で教えてください。</p>	<p>富山市の各部局の中堅・若手職員15名により構成する庁内ワーキンググループが、市民目線で本市の「将来目指すべき理想の姿（ありたい姿）」と「現状」とのギャップ（＝課題）を抽出するとともに、その課題解決に資するデジタル技術の活用について調査・検討する取組を行っております。</p>
15	<p>想定スケジュールでは庁内ワーキンググループ開催の月に有識者会議も予定されていますが、こちらは必須でしょうか？有識者会議を開催する月はワーキンググループを開催しないという提案は可能ですか？</p>	<p>庁内ワーキンググループについては、仕様書上、月1回程度開催することとしておりますが、受託事業者については「毎回の会議への出席は必須ではないが、プロセス上必要であると認められる場合は出席すること。」、また「詳細なスケジュールは事業者が提案し、事務局と調整したうえで契約時に定める。」としておりますのでそのような提案は可能です。</p>